

## 教材4-A-(2) 度数分布表

① 『度数分布表の問題』の解決のために

それぞれの言葉の意味

○ 度数とは、それぞれの階級に入っている個数

【表】ある市の9月の最高気温

$a = (\text{総度数}) - (\text{26}^\circ\text{C以上28}^\circ\text{C未満以外の度数の和})$

これより  $a =$

○ 相対度数とは、各階級の度数を、総度数でわった<sup>あた</sup>い値

これより、最高気温が  $30^\circ\text{C}$  の日が入る階級の相対度数は

$$\boxed{\phantom{00}} \div \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

階級(°C)	度数(日)
以上 未満	
22 ~ 24	2
24 ~ 26	4
26 ~ 28	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="a"/>
28 ~ 30	3
30 ~ 32	12
32 ~ 34	6
合計	30

### たしかめよう

右の【表】は、ある県の8月の最高気温の測定結果を度数分布表にまとめたものです。

【表】ある県の8月の最高気温

① 【表】の  にあてはまる数を求めなさい。

② 最高気温が  $34^\circ\text{C}$  の日が入る階級の相対度数を求めなさい。

階級(°C)	度数(日)
以上 未満	
22 ~ 24	1
24 ~ 26	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text" value="a"/>
26 ~ 28	1
28 ~ 30	4
30 ~ 32	12
32 ~ 34	8
34 ~ 36	3
36 ~ 38	0
合計	31